

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科					
科目名称	保育の方法と技術					授業形態	講義・演習			
科目コード	750154	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	西田 雅美								ICT活 用	○
授業概要	本授業の目的は、保育所・幼稚園等における保育の方法と技術について学び、園における生活や遊びの場面で子どもとかわるための指導法について理解することである。 保育では、子どもの主体性を大切にしながら日々の保育実践を行っているため、保育者が子どもを引き付ける方法と技術を身につけておく必要がある。 そのために授業では、子どもを引き付ける教材の製作、またそれを活用した技術の習得に加え、教材を使用しない保育方法やその技術について学ぶ。									
関連する科目	事前に「子どもと手作り遊び」を受講しておくことが望ましい。 履修後は、「保育実習Ⅱ」を履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	毎回の授業にて、演習形式の授業を展開する。パワーポイントを活用した授業も行う。 1回の授業構成は以下の通りである。 授業の前半で子どもを引き付ける保育方法について学び、後半ではその方法を実践しながら保育技術の定着を図る。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 授業概要の説明 子どもとのあそび① ふれあいあそびを学び実践する。									
授業計画 【第2回】	子どもとのあそび② あそびかたの工夫について学び実践する。									
授業計画 【第3回】	感覚統合の遊び ①遊びと感覚統合 環境の支援と遊びについて学ぶ。									
授業計画 【第4回】	造形活動① 保育で使える絵の技法と折り紙（実技）									
授業計画 【第5回】	造形活動② 保育で使える立体表現と粘土（実技）									
授業計画 【第6回】	遊びと感覚統合① 感覚統合の基本的な考え方を知り、感覚の特性と子どもの行動について理解を深める。									
授業計画 【第7回】	子どもとのあそび③ 様々な遊びを学び実践する。									
授業計画 【第8回】	絵本について 絵本のつくりや分類、読み語りの体験や方法について学び実践する。									
授業計画 【第9回】	おはなし小道具について おはなし小道具に実際に触れ、活かし方について体験し学ぶ。									
授業計画 【第10回】	作製 保育で使える名前からくりを作製し、活用方法を学び実践する。									

授業計画 【第11回】	ストーリーテリングについて ストーリーテリングを体験、実践する。
授業計画 【第12回】	リトミック① リトミックの概要 動きを取り入れた音楽活動を通してリトミックの概要について学ぶ。
授業計画 【第13回】	リトミック② リトミックの体験 楽器や小物等を使用して多面的なリトミック活動を体験する。
授業計画 【第14回】	リトミック③ リトミックの指導法 子どものためのリトミック指導法を学び実践する。
授業計画 【第15回】	感覚統合の遊び ②身近な素材を使った遊び 保育や療育の現場ですぐに実践できる遊びを体験し、指導法を学ぶ。
授業の到達目標	1. 年齢に応じた保育の方法について理解をすること 2. 保育技術を身につけ、実践できること
学位授与の方針 (DP)との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外学習【予習】	それぞれの授業内容に関することについて、各自、図書館等を利用して事前に情報を収集しておくこと（40分）。
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ保育の方法と技術についての定着を図るため、各自、授業のまとめを行うとともに、子どもたちの前に立っていることを想定し、繰り返し練習すること（50分）。
課題に対する フィードバック	課題は確認後、最終課題提示前に返却する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する 1. 学習態度・意欲 30点 2. 実践（発表含む） 40点 3. 課題提出 30点
テキスト	必要に応じて適宜紹介する。
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
備考	製作材料は各自準備して臨むこと。 1Lの紙パック（牛乳パックなど）を各自8つずつ準備しておくこと。